

地域づくり応援事業地域おこし協力隊事業

- 城西地域のまちづくりを理解・共感し、地域づくりの事務局を担う地域マネージャーや地域住民と一緒に「津山まちの駅城西」を中心に、空き家の活用、イベントの企画などを行う。
- 「津山まちの駅城西」に来る地域住民の方と交流しつつ、城西地域が目指す「支えあい、つながりあう地域」づくりを進める

1 業務内容

○地域間交流事業への取組(地域住民らと)

- ☆ 観光資源の掘り起こし
- ☆ 「津山まちの駅城西」を中心とした賑わい創出に向けたイベントの企画 ほか

○定住推進事業(地域住民らと)

- ☆ 空き家の情報収集、空き家バンクへの登録
- ☆ 空き店舗、空き家の活用策の模索、実践

○地域マネージャーの補佐

- ☆ 情報発信、SNS発信等のマニュアル作り
- ☆ 関係者の(農業・行事・風土等)に関する情報の収集

○任期後に向けた自主事業

- ☆ 関係者との関係構築、地域課題の把握を経て、試行、実践
- ☆ 地域資源を活用した起業の模索

受入団体

城西まちづくり協議会
(幹部会等で協力隊に求める活動など共有済み)



2 求める人材

- ・素直、前向き、探究心がある。
- ・協調性があり、地域に溶け込み、地域住民と仲良くできる。
- ・空き家活用に関心、アイデアがあり、地域活性化につながるができる。
- ・性別不問 ・フットワークが軽く、アイデアを行動に移せる。
- ・ボランティア精神がある ・普通自動車免許所有
- ・パソコン操作、情報発信(表計算・ホームページ・SNS等)に長けている

3 期待する効果

観光資源の掘り起こし、観光プログラムの構築

空き家の情報収集、活用策の検討

地域マネージャーの補佐

任期後に向けた自主事業の試行、実践



・まちの駅城西を中心とした観光客集客
・寺町や文化を活用した外貨獲得

・新たな視点による地域の魅力づくり
・空き家を活用した地域の賑わい創出

・地域関係者との関係構築
・地域課題の把握

・任期後も地域に残り、活動継続に繋げる

4 受入体制

隊員の住居

地域内にある空き家を住民が主体となり、環境整備を行う。

サポート体制

協議会の事務局、地域マネージャーらが伴走し、困ったときに相談できる関係を構築する

5 任期終了後の隊員の展望

受入団体

任期中に空き家活用、観光資源の掘り起こし、情報発信を通じ、自主事業を確立させ、事業収入などにより自立し、定住・定着を希望し、継続的な地域活動を期待

行政

受入地域に定住・定着したうえで、3年間で培ったスキル、人脈を生かして、城西地区だけではなく、全市的に取り組んでもらい、市内での継続的な活動を期待

【主な年間業務】

月	地域間交流	定住促進事業	任期終了後に向けて
4月			
5月	(協議会の地域マネージャーらとともに)	・空き家の情報収集、空き家バンクへの登録 ・空き店舗、空き家の活用策の模索	・自主事業の模索 ・地域資源を活用した起業の模索
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			